長嶺地域コミュニティ協議会だより

令和５年度　総会

発行日 令和５年６月８日　　発行責任者　　会長　大竹順一　　編集･発行　　広報部　平石三男

この広報誌は新潟市地域活動の補助金を受けて発行しました

ホームページアドレス：http://minekomi.sakura.ne.jp　　ホームページ QR コード

去る６月３日（土）　長嶺コミ協会議室に於いて自治会・町内会長を始め、各専門部長・副部長参加のもとに令和５年度総会が開催されました。総会は午後６時より宮田副会長の司会進行で、令和４年度事業報告及び決算報告・規約改訂について・役員の変更について・令和５年度事業計画及び予算の審議の議案について討議し、提案通り原案の全てを可決、決定しました。

長嶺地域コミュニティ協議会総会挨拶

長嶺地域コミュニティ協議会
会長　　大　竹　順　一

先日、「長井雲坪」並びに「金子孝信」の企画展を見てきました。長嶺地域にゆかりのある先人の業績を目にできたことは貴重な経験をしたと思っています。　さて、新型コロナウイルス感染症の関係で、ここ３年間は思うような活動が出来ませんでしたが、規制も緩和され、ようやくコロナ前の日常生活に戻り始めています。

今年は、コミ協の様々な活動を通して、地域の結束を強めて参りたいと思います。　今日の資料にはない取り組みも考えております。　数年前から、高齢者世帯に「緊急医療情報キット」を配布しました。今年はその見直しを行い、民生委員の方々と町内会長自治会長の皆様から協力を頂き、同様な取り組みを行って参りたいと思っています、その他、避難所運営の基礎知識の勉強会や、自主防災訓練については、先進的な取り組みを行っているコミ協の見学会も計画しております。　また、長嶺コミ協では新潟市や社会福祉協議会の補助金を活用して、各種事業を行っておりますが、自治会・町内会に於かれましても、補助金を是非活用して頂きたいと思います。旅費精算についてのお願いです。例えば、研修会・買い物など、コミ協関連の用事で外出する時には旅費の精算をお願いします。皆さんの貴重な時間をコミ協の用事に使って頂きますし、自家用車で出掛ける時はガソリン代なども掛かります。一日 500 円と少額ですが、皆様が快くコミ協活動に協力して頂けるよう定めた規約ですので、不公平のない様、皆様から利用して頂きますようお願いします。

今日の総会の、議案の審議よろしくお願い致します。

令和５年度　総務会　　自治会長･町内会長

【総務会】

会　長
　大竹　順一（西片原二・三町内会長）
副会長
　川崎ツキ子（蒲原町町内会）
　水本　孝夫（蒲原町町内会）
　宮田　純一（蒲原町町内会長）
会　計
　松田とよ子（稲荷町町内会）
専門部長
　安心安全部長　加藤　孝雄
　体育文化部長　丸山一二三
　青少年部長　　坂井　薫
　健康福祉部長　長谷川文子
　環境整備部長　野口　幸一
　広報部長　　平石　三男

【自治会長・町内会長】

星山　良蔵（笹口第五自治会長）
中尾　隆政（アトール長嶺町自治会長）
桑野　一男（長嶺第一町内会長）
石黒　正之（長嶺第二町内会長）
石川美枝子（明石公営住宅自治会長）
荒川　元治（西横町町内会長）
竹内　　巌（西片原一丁目町内会長）
坂井　浩章（他門町内会長）
風間　政司（入船大門町内会長）
成田　俊弥（沼垂古町三・四町内会長）
小林　幹夫（古稲荷町町内会長）
本間　武己（稲荷町町内会長）
安澤　健次（明石二自治会長）
加賀田智恵（加商自治会長）

主な事業予定

総会(6 月3日)　**春季ほんぽーと周辺清掃**(6月 11 日)　**元気ウオーク**(6 月 18 日)　**蒲原まつり**(6 月 30 日～7 月 2 日)
田上町ゆうゆうランドで遊ぼう(7 月 23 日)　**長嶺コミ協夏まつり**(8 月 26 日)　**長嶺ふれあい三世代交流会**(9 月 28 日)
秋季ほんぽーと周辺清掃(10 月 1 日)　**ピンポン交流会**(10 月中旬)　**自主防災訓練**(10 月 15 日)　**長嶺コミ協三世代交流会**
芋煮会(10 月 22 日)　**たんぽぽ「クリスマス会」**(12 月 12 日)　**年末防犯防火パトロール**(12 月)　**防火座談会**(6 年 2 月)
新春地域ミニサミット(2 月 11 日)　**新春寄席**(2 月中旬)　**新１年生入学祝と６年生卒業のお楽しみ会**(3 月 10 日)

長嶺サロン「たんぽぽ」(第2火曜日)　**長嶺サロン「料理教室」**第4火曜日　**長嶺サロン「チューリップ」**毎週木曜日（毎月４回）

蒲原まつり開催にあたって

長嶺地域コミュニティ協議会
蒲原まつり実行委員会
実行委員長　水本孝夫

ここ３年は、コロナ感染防止の為、露店の出店は中止していましたが、今年は再開することに致しました。毎年 24 万人以上の見物客（参拝客）で賑わうこのまつりは、それを支える裏方役として地元コミ協が主体となり実行委員会を立ち上げ、3 日間を通じて延べ 1.500 人の方々の協力で成り立っています。

神社境内と公道に延べ約 1km に渡り約 450 店の露店が出店します。　県外からの露天商が約半分来ますので、新潟では普段食べられない物や、購入できない品物などが多く出店し、それがこの祭りの魅力のひとつとなっています。　又、長嶺コミ協では「福祉ふれあい広場」を独自に開催しています。　これは小規模福祉作業所で働く方たちに手作りの品物や、委託販売の品物を販売して頂き、見物客とふれあい、少しでも労働意欲をもって頂き、同時に働くことの喜びを知って頂きたいという思いを込めて行っています。さらに、まつりをよりまつりらしくする為に、見物客の方々に浴衣（ゆかた）姿でお越し頂こうと「浴衣まつり」を開催し、抽選会を行い素敵なプレゼントを差し上げています。又、会場では「似顔絵コーナー」を設けたり、「万代太鼓」の演奏をしたりして盛り上げています。

このように私ども蒲原まつり実行委員会は、伝統あるこの蒲原まつりというひとつの文化を次の世代に継承していくとともに、安心、安全でクリーンなまつりの実現を目指して頑張っています。